

## 介護の現状など学ぶ

黒坂コミュニティ講演会

3月7日、黒坂地区コミュニティ推進協議会（中原明会長）主催の講演会が、町公民館で開かれ、およそ50人が参加しました。

今回のテーマは、「老後の心配ごとを考える」。日翔会の原田和美さん、大塚一史さんを講師に、認知証や介護、施設入所などについての講演を聞きました。

講師による、日野町の高齢者や介護を受けている人の状況などの説明のほか、参加者からの「もし認知証になったらどうなるのか」などの質問にも答えるなど、老後の暮らしについて考えるよい機会になったようでした。



関心の高い話題に、真剣に聞き入る

## まちの話題



コンパクトな車体にさまざまな資機材を搭載

## 災害現場で力を発揮

町消防団に新型車両を導入

3月20日、災害救助に活躍する資機材を搭載した救助資機材搭載型車両が、町から町消防団へ引き渡されました。

この車両は、消火用小型ポンプをはじめ、AED（自動体外式除細動器）やチェーンソー、エンジンカッターなどの資機材を装備。火災現場だけでなく、万一のとき、災害救助の場面で活用が期待されています。

あなたの声や地域・職場での話題をお寄せください。  
★役場企画政策課まで（電話7210332）

## 介護現場で役立てて

あいごへシーツなど寄贈

経営者にさまざまな支援を行っている米子法人会（鷲見邦弘会長）が、3月16日、特別養護老人ホームあいご（根雨）へ、介護に使ってもらおうと古タオルとシーツを寄贈しました。

これは、地域貢献のため、同会が県西部の会員らに呼びかけて集めたもの。古タオルがダンボール25箱分、シーツが100枚と、多くの善意が贈られました。

あいごを運営する日翔会の原田和美本部長は、「いただいた物はもちろんですが、その気持ちもうれしい。たくさんいただいたので有効に使いたい」と話しました。



寄贈を受ける原田本部長（左）



このメンバーがそろうのも最後

## 地域の人へ感謝を込めて

日野中吹奏楽部コンサート

3月21日、日野中学校吹奏楽部による「桜薫るコンサート」が、町文化センターで開かれました。

同吹奏楽部は、小人数ながら迫力ある演奏で知られ、各種大会で入賞しているほか、町内のイベントなどにも多く出演、地域でも人気のあるバンドです。

今回は、クラシックやジャズ、ポップスなど12曲を演奏、息の合ったサウンドを聞かせ、客席から大きな拍手が送られました。

3年生10人にとってはこれが最後の演奏。一人一人が思いを述べる場面もあり、客席は感動に包まれていました。



ベテランの芸を見せるつげさん

## 親子でお話の世界楽しむ

### アートスタート人形劇公演

子どもたちが芸術文化に触れるための「アートスタート」に取り組んでいる、親子でアートを楽しむ会「おひさま」（田口郁江代表）主催の人形劇公演「かくれんぼしてるのだから？」が、3月24日、町文化センター・ホワイエで上演され、約70人の親子らが鑑賞しました。

出演は、くわえ・ばべっとステージの、つげくわえさん（京都府）。草むらから動物たちが次々に現れてかくれんぼをするという物語が、子どもを引きつける話術やさまざまな声色を使って表現され、子どもたちは歓声を上げながらも真剣にお話の世界に浸っていました。



目録を手渡す富谷会長（右）

## 50万円をさらに寄付

### 町観光協会が町に寄付

3月25日、町観光協会（富谷進会長）から、町へ金持神社札所の収益金のうち50万円が寄付されました。

同協会は、2月にも200万円を観光振興のためとして町に寄付。今回は、観光だけでなく町政全般に使ってほしいと、追加の寄付となりました。

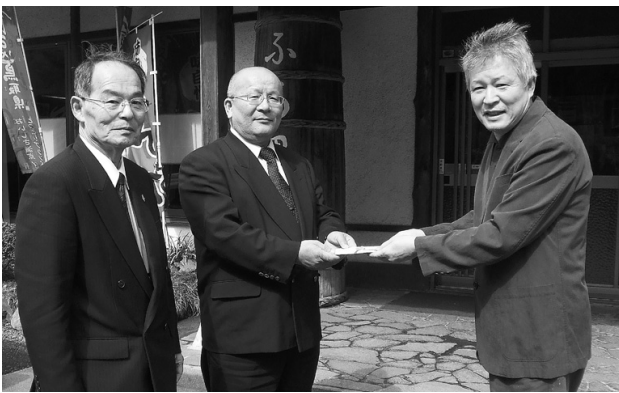
当日は、富谷会長らが町長室を訪れ、目録を景山町長に手渡しました。町長は、「日野町を名実共に全国に発信していただき、本当にお世話になっていきます。先月に引き続きの寄付をいただき大変うれしい。大切に使用していきます」とお礼の言葉を述べました。

## 青少年育成に役立てて

### 写友会ひのが寄付

3月29日、町内外で活躍している写真サークル「写友会ひの」（松本利秋代表）が町制50周年を記念して作成した「ふるさと百景DVD」の収益金の一部を、青少年育成活動に役立ててほしいと、日野町青少年育成会（生田英明会長）に寄付しました。

写友会ひの副会長の岡本美さんから寄付金を受け取った町青少年育成会の長谷川事務局長は、「しっかりと青少年育成活動に使わせていただきます。本当にありがたい」と言葉を述べました。



左から、山本教育長、長谷川事務局長、岡本さん

## 地域の誇り楽しんで学習

### たたら製鉄が開校

かつての奥日野の主要産業だった「たたら製鉄」について楽しく学ぶための「たたら製鉄 根雨楽舎」が、町公舎（根雨）の一部を利用して、4月3日に開校しました。

開校式では、計画した町商工会の勝瀬節雄会長があいさつ、「日本一の生産量を誇ったたたら製鉄と近藤家の歴史を学び、来町する人や地域の皆さんとのコミュニケーションの場として活用できれば」と話しました。

たたら製鉄は、日南町の大宮楽舎と根雨楽舎の2つで構成。大宮ではたたら製鉄の原理やヤマタノオロチ伝説が中心に学べ、根雨では主に近藤家についてのパネル展示が中心。誰でも分かりやすくたたら製鉄が学べるように工夫されています。



根雨楽舎は土・日に開校。まちの活性化にも期待